

東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会 愛知大会に500名が集い熱戦を繰り広げる!

5月30日、31日の2日間、岡崎中央総合公園と愛知県岡崎総合運動場の2会場において開催しました。

同大会は東海近畿地区9府県の農業大学校が輪番制で開催し

ており、本年度は愛知県が当番県となったことから、昨年度から学生と職員が一丸となり準備を進め、大会に臨みました。

競技種目は、野球、バレーボール、バスケットボール、卓球、



バドミントン、テニスの6種目です。例年、「打倒愛知」を目標に参加する他校に対して、本校学生も日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、白熱した試合が繰り広げられました。

また、30日の夜は、蒲郡市内のホテルに一堂に会し、なかなか立食パーティーとなりました。9校の学生が参加したアトラクションもあり、更に交流を深めることができました。

31日は前夜に降った雨でぬかるんだグラウンドを一生懸命整備する本校の学生を見て、他県の学生も「ウオーミングアップだ」といって自主的に手伝う姿が見られるなど、参加学生相互

東海近畿ブロックのプロジェクト発表会で最優秀賞を受賞

平成25年1月21日～22日に岐阜県で開催された「東海・近畿ブロック農業大学校学生研究及び意見発表会」に本校の代表として農学科の学生2名が参加しました。

研究発表の部には、果樹専攻2年生の石口祐希君、意見発表の部に露地野菜専攻1年生の中村昌宣君が出場しました。石口君は、「イチジクの接ぎ木によ

の絆を深めることができました。本校学生は昨年度を上回る成績を挙げ、愛知大会を成功裏に終えることができました。

本校学生の奮闘結果

団体の部	優勝	バレーボール、卓球、バドミントン、テニス
	準優勝	野球
	3位	バスケットボール
個人の部	優勝	卓球男子S、バドミントン女子S、同男子W、テニス男子W
	準優勝	卓球男子S
	3位	卓球女子S、同男子W、テニス男子S

る品種更新手法の検討」と題して、高接ぎによる榊井ドーフィンのサマーレッドへの一挙更新の有効性について発表しました。中村君は、「伝える繋げる農家になる!!」



と題して、自らの就農ビジョンについて発表を行いました。審査の結果、中村君は入賞を逃しましたが、石口君はみごと最優秀賞を受賞し、東海近畿ブロックの代表として2月19日～21日に東京で開催された「農業大学校等プロジェクト発表会・交換大会」に臨みました。

残念ながら、ここでは上位入賞を逃しましたが、石口君は大観衆の前で堂々と発表できただけでなく、質問にも的確に答えることができ、その姿は立派でした。

また、東京での大会に参加した本校の学生5名は、全国の農大生と交流を深めることで、様々な刺激を受け一回り大きく成長することが出来ました。